

第9期第1回岸和田市文化振興審議会会議録

1. 審議会の名称	第9期第1回岸和田市文化振興審議会
2. 開催日時	平成25年10月3日（木）午後1時30分から
3. 開催場所	岸和田市立文化会館 創作実習室2
4. 公開・非公開の別	公開
5. 出席者	肥田委員、松本委員、藤田委員、塚本委員、黒石委員、 木津川委員、長田委員、新谷委員、藤原委員、川崎委員、 以上10名
6. 欠席委員	金森委員 以上1名
7. 事務局	出口副市長 西川企画調整部長、大西文化国際課長、田宮担当長、 佐原担当員、畑部担当員 近松館長 以上7名
8. 傍聴者	なし

<p>9. 次第</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委嘱式 3. 市長挨拶 4. 自己紹介 5. 会長・副会長の選出 6. 就任挨拶 7. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 岸和田市文化振興計画の策定について (2) 市民アンケートについて 8. その他 9. 閉会
<p>10. その他</p>	
<p>会議録承認</p>	<p>平成25年11月19日</p>

■会長に木津川委員、副会長に金森委員が就任。

■ 7. 議題

事務局から説明

(1) 岸和田市文化振興計画の策定について

●スケジュールについて

11月 市民・団体向けアンケートを実施。

11月～2月 アンケートの集計

庁内の各部署に対しどのように文化に関わる事業をしているかを調査。その後、特に深い関係がある部署を集めて庁内組織を立ち上げる。

第1回懇話会 対象は各文化団体や公募市民。

3月 第2回審議会

アンケートの結果、懇話会、庁内組織の内容などを報告。

【会長】

文化振興計画をこれから作っていくが、何か意見はあるか？

【委員】

人間に関わる全てのものが文化に関わってくると思うが、それだと範囲が広すぎて良く分からない。岸和田市の文化振興条例では文化というのはどういう枠組み・位置づけで考えているか？

「文化・芸術」という文言が条例とアンケートでたくさん出てくるが「文化」と「芸術」を分けて考えているのか？

「文化」は生活文化で「芸術」は芸術文化という理解で良いのか？

【事務局】

文化というのは非常に広い範囲のものであり、結局人が生きて死ぬまで全てが文化にあたると思う。

しかし全部を含むのは膨大すぎるし、何もかもがこの条例に含まれるということになると分かりにくいので、平成13年に国が制定した文化振興基本法を軸にしている。ただスポーツは別と考え岸和田市の条例には含んでいない。

「文化・芸術」の表記だが、文化の中に当然芸術は入るが一般の方もイメージしやすいようにこの表記にした。

●市民・団体向けアンケートについて

【事務局】

市民向けアンケートは、文化振興計画の策定に向けて市民に対し文化活動の現状、意向を把握することを目的に実施するもの。

対象は市内に住民登録がある16歳以上の男女1,000人。

対象者を偏りがないようにするため、中学校区、男女、年齢と区分分けする。

内容は、「ライフスタイルについて（年代・職業・住まいなど）」、「文化の印象（本市は文化的か、文化をどのように考えているか）」、「文化活動の現状（発表・創造をしているか）」、「文化・芸術活動の推進を図るための施策について（岸和田の将来像、もっと充実させるには、文化施設・他の公共施設のこと、人材育成のこと、行政に求めるものなど）」、自由意見。

未定だが、教育機関がどのような活動をしているのかを、小中学校宛にアンケートを送ることで16歳以下の意見収集を検討している。

【会長】

アンケートの内容についての質問はあるか？

【委員】

分析する側はこれだけ聞きたいのは分かるが、もらった人はアンケートの分量が多すぎて書く気がしない。ここまで答えてもらわないと分析できないか？

ジャンル分けも書く方は多くて困る。一回目のアンケートなのでもっと大きく分けてはだめか？音楽系、舞台系・・・など。

音楽系の中に古典系、現代系などそういう分け方ではだめか？

居住地域は詳しく書いて分析してもらえるのは嬉しい。岸和田の文化に関わっている人がどの地域にいるのか分かるので良い。

問5-2で市内の鑑賞場所を聞いているが、杉江能楽堂と公共の施設を並べて書いている。杉江能楽堂は個人の持ち物であるが、並べて記載すると市の持ち物だと誤解するので注釈が必要では。

【委員】

文化と言えばまず頭に浮かぶのは芸術である。芸術というと難しく考えてしまう。具体的に並べていくと、市民はこれも文化なのだと理解できるのでは。た

だ選ぶとなると疲れるが・・・。

【会長】

アンケートを見て、答えるのに相当時間がかかると思った。

問 22 で、浪切ホールについて9つの中から3つを選べというのは難しい。浪切ホールを使わせてもらっているし、建設にも関わってきたが全部必要なもの。3つに絞れというのは難しい。

【事務局】

アンケートで1つや複数回答を求めているものが混在しているが、3つでは無理があるというところがあれば全てなどに変更はする。

【会長】

浪切ホールだけでなく、自泉会館やマドカホールにもあてはまる。

浪切ホール館長に今日は出席していただいているので、浪切ホールの事業について問 22 の選択肢に合わせて発言していただきたい。

【浪切ホール館長】

プロの公演ということであればクラシック・ジャズ公演などある。プロの展覧会は今のところない。

アマチュアの公演や展覧会については、前年度共催でMOA美術館の児童作品展を11月に開催した。

市民が参加できる入門講座や教室については、市内のいろいろな教室とバッティングしないように考えなければならないこともあるが、来年2月にウクレレ教室などをしようと考えている。

また食の交流室では近隣のレストランのシェフを呼び、料理教室を行っている。

市民が参加する舞台公演だが、去年は3館合同で市民劇をした。今年は公募市民による能を行う予定で、プロの指導のもと練習し、能楽堂で10月に発表する。市民の練習・発表機会の提供は貸館事業としてやっている。

文化芸術に関する様々な人の交流としては7月に浪切ホールを全館開放し、よさこいやフラダンスの無料公演をするなど交流の場を作った。

文化・芸術に関する相談窓口は、出来ていない部分はあるが浪切ホールに来て様々な人と知り合っているのでいろいろな相談に応じることができるようにしたい。

【委員】

アンケートは市民の意識調査か、文化振興計画を作るための調査か？

浪切ホールも自泉会館も市民センターも公民館も同じ扱いであるが市としての考え方はないのか？

自泉会館は自泉会館の特徴がある。あんな素晴らしい、音響が響く館というのをアマチュアもプロも同じレベルで考えて欲しくない。マドカホールは演劇が素晴らしい、それぞれ特徴がある。特徴を捉えてアンケートをとらないと、例えば1、2、3全部同じところに○をされたら全ての施設が同じ目的を持たなくてはいけなくなるのか。これはまずいのでは。

【委員】

すでに文化活動を始めている方を対象にアンケートをとればよいのでは？

活動している人をもっと育てるのか、活動する人を増やそうとするのが目的なのかで方向性が違ってくる。

【委員】

各町の文化クラブというのはあると思うので、そこに送ったらよいのでは？

【事務局】

1,000人という限られた中で、どれだけの方が活動しているのか、頻度は、どういう思いを持ってされているのかを知りたいと思い設問を作った。同じアンケート内容で活動されている方をお願いする予定である。

【会長】

文化創造活動に意欲を燃やして、生きがいを感じている方が市民の何パーセントいるのかをつかみたいという意図があって作っているが、活動してない方には答えにくいというギャップが難しいところ。

【委員】

市としては意識調査を行うのも大切だと思う。

【会長】

創造活動を行ったきっかけは活動されている方には詳しく聞かなければいけないが、一般市民向けはもう少し楽なものであって良いのでは。

問17で創造活動をしたい分野はとの質問があるが、したいと思っていない人には

関係ない。

【委員】

設問にあるメディア芸術という言葉が分からない。
音楽もジャンルが分かれすぎていて、日頃私が口ずさんでいる歌は何かとなる。

【会長】

新聞社がアンケートを取る場合は、中学生が理解できる質問内容で作る。このアンケートは高校生以上でないと難しいのでは。
思い切って質問を優しく簡単にしないと成果が上がらない。協力をしていただけないように思う。

【文化国際課長】

活動されている方と一般市民とのアンケートを分けて、一般の方はもっと簡単にする。

【会長】

団体向けアンケートの説明をお願いします。

【事務局】

市民向けアンケートと同じ時期に実施するが、文化活動をしている団体に向けて送付するものになる。

対象団体は、①岸和田市文化祭参加団体、②マドカホールを利用している各種団体、③公民館関係、④育成団体で岸和田市少年少女合唱団、岸和田市音楽団、マドカドラマスクールという3つの団体を含めて100ほどの団体に対して送付する。

調査内容は、団体の概要・活動状況・活動の意向・自由記述を考えている。

【委員】

対象団体に自泉会館は入らないのか？

【事務局】

実際に具体的な活動をしている団体を想定している。

岸和田文化事業協会、岸和田文化協会、岸和田文化連絡協議会はいろいろな分野が集まって活動されている団体なので、この3団体についてアンケートは考

えていない。しかし3団体にはこういう意見があるという報告は当然する。

【委員】

自泉会館の予約を取るの難しく、だからそれだけニーズがあると考え。文化祭にも参加しないなど、送付の対象団体に入らないところはどうか？

【文化国際課長】

例えばそういう方にアンケートをお願いするには各館に置くことになるのか？どこも所属はしていないが3、4人で集まって、自泉会館を使っている方にうまくアンケートを渡せるかどうか。

【委員】

自泉会館の申込書があるからそれを使えばよいのではないか？マドカホール利用団体と同じように自泉会館利用団体もいる。

【委員】

岸和田市文化振興計画を策定するためのアンケートであるなら、プロとして芸術活動をしている方に対してもアンケートが必要では？

職業として芸術活動をしている方が岸和田に住みたい、住んだら芸術家が大事にしてもらえるという町にしたい。そのためには、嫌がると思うが一番必要なのは芸術家に対する助成があることである。

岸和田に住んでどう思うか、岸和田で活動してどう思っているのかを調査してほしい。

芸術家がホールをどう使っていて、将来岸和田にどう貢献したいのかは振興計画の中で大きなウェイトを占めると思う。

【会長】

プロの芸術創造団体が一番必要としているのは行政からの助成。それを貰いたいという気持ちが大変強い。

問6-2、3で団体の活動成果を発表する機会を質問しているが、活動していない理由とともに発表できない理由もあると思う。財政的に発表ができない団体もあると思う。財政的にできないとの答えが出てくるかもしれない。

発表できない理由を質問することによって、団体の苦悩の程度が推察できると思う。

【委員】

団体対象となっているが、団体に所属しないで一人で活動している芸術家もいる。その人たちの調査も必要ではないか？

岸和田文化事業協会にもそういう方はたくさんいる。

【文化国際課長】

個人情報も今は厳しく個人を特定して送付するのは難しい。3団体を通してその方の了解を得て送付することになるかと思う。少し考えさせて欲しい。

【会長】

岸和田市将来構想体系表だが、目指す町の姿に文化や芸術という文言が一つもない。文化的・芸術的な視点が全く無いまま岸和田の将来が決まってしまう。

【企画調整部長】

今までの総合計画は分野別の総合計画であった。その分野に向かって何をするのかの計画であったが、今回は目的別の総合計画という組み立て方をしている。例えば基本目標の「生きがいを創造する」部分には文化は当然入ってくる。「次世代を育てる」にしても成長段階に沿った文化の触れ合いがある。

文化を考えていないわけではないのでご理解いただきたい。

【委員】

昔は博物館の学芸員は調査研究を行うものであり、教育や普及の観点は無かった。人が来なくても構わないからとにかく展覧会をやってということで、自分の好きなテーマだけをやってきた。

今は財政が悪化して市民の目が厳しくなり、もちろんたくさん人が入ったから良い展覧会ということではないが、何人入ったのかが評価の基準になっている。博物館は普及や宣伝、市民にいかに開かれた施設になるか、今まで見せてあげる、教えてあげる、見たいなら見に来なさいとの姿勢だったがそうではなく、市民の学習を支援する施設である。文化施設も同じだと思った。

貸してあげるという姿勢ではなく、市民が使用するのに行政はいかに支援をするかである。もう少し進めていくと、文化施設はサポートも大事だが場や時間を提供して人と人とが繋がっている、相互に交流している場となっていくのが一番良いと思う。

【事務局】

まとめだが、一般市民向けアンケートについては簡潔に考え直す。団体向けは

文言修正をする。団体の送付先については自泉会館利用者についての意見があったので入れようと思う。プロの芸術家に対してアンケートを出すかどうかは検討する。